

－2020年オリンピック東京大会－

スポーツクライミング日本代表・野口啓代選手を母校が全力応援！  
八原小・城ノ内中の子どもたちが手作りの応援フラッグ等を制作・贈呈しました



左：八原小学校が制作した横断幕 右：城ノ内中学校が制作した応援フラッグ

スポーツクライミング女子日本代表の野口啓代選手の活躍を願い、母校である龍ヶ崎市立八原小学校(校長：四位 悟・児童数756名)・龍ヶ崎市立城ノ内中学校(校長：小林 孝太郎・生徒数684名)の2校が横断幕と応援フラッグ等を制作し、本日7月9日(金)、野口選手のご実家を学校関係者が訪問し、ご両親へ贈呈しました。

今回、八原小学校で制作された横断幕(縦約1m×横約6m)には、野口選手の活躍を小さな手で支えるとの思いで1年生から3年生が手形を押し、4年生から6年生が応援メッセージを書き入れました。さらに、子どもたちが歌う同校校歌を録音したCDも贈呈しています。

また、城ノ内中学校では、美術部の生徒が描いた野口選手の勝負カラーである「赤いマニキュア」が施された手が力強くホールドを掴む絵を背景に、全クラスからの応援メッセージが書かれたフラッグ(縦1.5m×横2.5m)を制作し、贈呈しています。

なお、現在野口選手は海外遠征から帰国後の自主隔離期間となっています。そのため、贈呈した応援フラッグ等は今後、ご家族を通じて選手本人に届けられる予定です。

関係者のコメントなどは本リリース2枚目に記載しています。



### <野口啓代選手プロフィール>

龍ヶ崎市出身・龍ヶ崎ふるさと大使

1989年5月30日生まれ。

プロフリークライマー/TEAM au 所属

4度のボルダリングW杯年間総合優勝、国内外の大会で数々の記録を持つ。

現在も世界トップクラスのクライマーとして挑戦し続ける、日本が誇るクライマー。

#### ■龍ヶ崎市立八原小学校 校長 四位 悟 コメント

オリンピック東京大会への出場おめでとうございます。八原小学校の卒業生でもある野口啓代選手を756人の児童はもとより、ここで働く全職員、そして龍ヶ崎市民は誇りに思います。

ここへ辿り着くまでの道のりは決して平坦ではなく、たくさんの挫折や屈辱を味わい、それに打ち勝ってきたからこそオリンピック出場という偉業を成し遂げられたと思います。本番では多くの期待を背負って戦うことと思いますが、まずは自分のために、自分の力を精一杯発揮してください。

孤独な戦いになると思いますが、決して一人ではありません。我々は全力で野口選手の背中を押します。輝け！野口啓代選手

#### ■龍ヶ崎市立城ノ内中学校 校長 小林 孝太郎 コメント

2020オリンピック東京大会へのご出場おめでとうございます。野口選手が本校の卒業生であることを本当に誇らしく思います。

校長室に保管している当時の卒業文集を読ませてもらいました。小学校の頃からの夢をいよいよ実現するときが来たのですね。小学校から磨いてきた技と経験を思う存分発揮してください。

そして、メダルを手にした野口選手のすてきな笑顔を見せてくれることを在校生・教職員一同期待しています。

「目指せ 世界ー！」

担当課	龍ヶ崎市 健康づくり推進部 スポーツ都市推進課 スポーツ都市推進グループ 担当者:宇津野・田中(うつの・たなか) 連絡先:0297-60-1564(直通)
-----	---